



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



掛川地区協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施！（6月中）

掛川地区安全運転管理協会は、掛川市内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、6月26日に掛川警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、これからの対策等を協議しました。

6月26日（水）、掛川警察署の呼び掛けで、掛川市役所、袋井土木事務所、交通安全協会掛川地区支部、地域安全推進委員、自治会等の関係団体とともに、掛川地区安全運転管理協会から役員や事務局長が参加して、合計20人により
6月12日（水）午前、掛川市八坂地先の国道で発生した交通死亡事故
（中型トラックと軽四乗用車の正面衝突事故、軽四乗用車の52歳男性が死亡）
の事故現場診断を行いました。

この事故現場は中央分離帯の無い直線道路で、現場診断で協議した結果、

- 道路中央にラバーポールを設置し、車線はみ出しを防止する。
- 「キープレフト」「安全速度で走行」などの注意看板を設置する。

など交通死亡事故の再発防止対策に関する意見が出され、今後の交通安全活動に反映させることとしました。



【現場診断、対策協議のようす】